



『ママ・パパからのことばは、子どもたちにとってのとっておき!』

大好きなママ・パパからかけられることばは、子どもたちにとって大人が思う以上に大きな意味をもっています。普段の生活の中で意識的に、子どもたちと正面から向き合う場面を増やしていきたいものですが、「どうしたらいいの?」と悩まれる方も少なくないのではないのでしょうか。

そこで相談室では、日常の中にある様々な場面を活かし、自然に触れる機会や社会とかわる中でお家の方もお子さんも楽しみつつ、親子の信頼関係へもつながる、『ことばのかけ方・かかわり方』を3つのシリーズにわたってお伝えしていきます。

ぜひ、ご参考にしてみてください。



子どもを伸ばす

ことばのかけ方・かかわり方

— お出かけ・公園編 —



ドライブや公園など子どもたちと一緒にのお出かけするときの車内や行った先で、こんな遊びをしてみてくださいませんか?いろいろなジャンルのことばに触れることで語彙が増え、また、気分転換や頭の体操にもなります。親子で問題の出し合いっこをするのも楽しいですね。



<ことばあそび>

① しりとり

めがね→ねこ→こま・・・などなど楽しいですよ!

② 「あ」のつくことば(「あ〜ん」までたくさんできます)

アイス、あめ、あか、あし・・・など

③ 「O文字」のことば(例えば「3文字」のことば)

くるま、さかな、りんご・・・など

④ なぞなぞ

「パンはパンでも食べられないパンはなんだ?」など

⑤ スリーヒントクイズ

「赤いものです。すっぱくて甘いです。ケーキの上ののってます」なんでしょう? など



車でおでかけ編

<車窓クイズ>

① 次に来る車は?

「あの車は何色でしょうか?」

「あそこに停まっている車はなんでしょう?」(トラック、バス、パトカーなど)

② お店や看板を探そう!

「次のコンビニは左側かな右側かな?」

「あの看板は何て読むでしょう?」など

＜自然で遊ぼう＞

① お花摘み、草摘み

きれいな花を摘んだり、四つ葉のクローバーを探したり、オオバコや松葉でお相撲をしたりいろいろありますよ。

② 葉っぱや花で作ってみましょう

クローバーで首飾りを作ったり、葉っぱで音を鳴らしたり、笹船を作ったりするのも楽しいですよ。

③ 虫探し、虫とり

アリやダンゴムシ、バッタやカマキリなど自然の中には魅力的な虫がたくさん待っています。

④ 貝がらや石集め

海に行くときれいな貝がらや面白い形の石がたくさんあります。それらを探したり拾って集めたりするのも、子どもたちにはとても楽しい遊びです。



ご近所や公園編

＜その他＞

年長児～小学生にオススメ！

① ジャンケン遊び

公園や神社の石段などで「グリコ、チョコレート、パイナップル」などとジャンケンをしながらか進むのも楽しいですよ。

② 石を使った遊び

石を遠くまで投げたり、水切りをしたり、ケンパで遊んだりもいいですね。

★今の子どもは「投げる」ことが苦手です。広い海や川へ行ったら安全に気を付けてやってみてください。



『手をつなぐ』ということの大切さ



子どもと一緒に出かける時に、「手をつなぐよ」と声をかけ促すことが多くなりますよね。

「手をつなぐ」ということは、安全面からも大切なことですが、それだけではありません。

手をつなぐことで子どもに安心感を与えたり、大好きな気持ちを伝えることができたり、最も身近なスキンシップとしても、とても有効なのです。

また、手をつないで歩く時には、相手を意識し、歩調を合わせます。親子で手をつないで歩くことは、相手のことを考え思いやり行動することにもつながります。これは、子どもの社会性や協調性を育む第一歩として大切な関わりと言えます。



手をつなぐことを嫌がったら・・・

駐車場や車の多い道路を歩く時は、手をつないでほしいですよ。そんな時は次の様な方法も試してみてください。

- ① きちんと車や迷子の危険性を伝えましょう。
- ② お手伝いやママ（パパでも）を助けるような気持ちにならせて、「ママ車がいっぱいでこわいから手をつないでくれる？」や、「ママ寂しいから手をつないでくれたらうれしいな～」など、子どもの自尊心をくすぐるような言葉をかけてみましょう。
- ③ 普段から手をつなぐ手遊びや手をつないで一緒に歌うなど、手をつなぐことが楽しくなるような関わりを増やし、抵抗感をなくしていきましょう。



外出先での困った行動には・・・

お店で勝手に品物に触ろうとしたり、勝手に走りだしたり、うろちょろしたり…そんな時は、具体的に『どうしたらいいのか』を話すと子どもは分かりやすいです。

「触らないでね。見るだけだよ」

「お隣にいてね」「一緒に歩こうね」

+

出来たらその場ですぐ褒める♡